

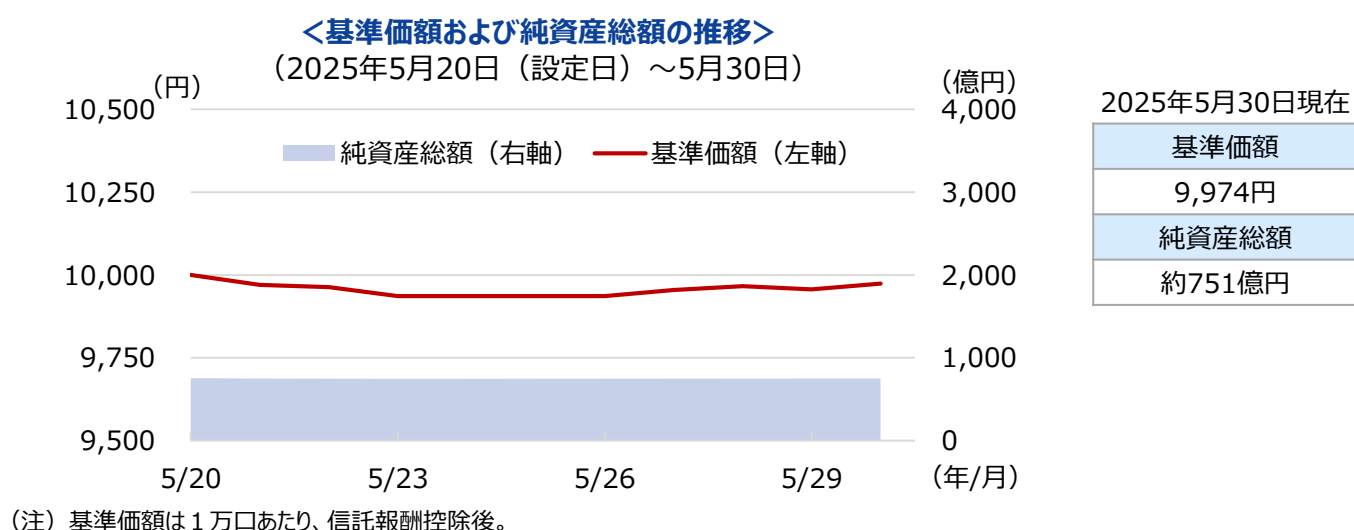


設定時の条件決定等について

ゴールドマン・サックス社債／FOLIO・AI マルチアセット戦略ファンド2025-05

平素より「ゴールドマン・サックス社債／FOLIO・AIマルチアセット戦略ファンド2025-05」（以下、当ファンド）をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。当ファンドは2025年5月20日に設定され、運用を開始いたしました。本レポートでは、当ファンドの設定日における信託報酬率等の決定内容等についてご報告いたします。

基準価額および純資産総額の推移



信託報酬率および分配金の決定

当ファンドは、設定日におけるゴールドマン・サックス社債の発行条件を受けて、信託報酬率^{*1}および分配金^{*2}を決定いたしました。

1. ゴールドマン・サックス社債の発行条件

利金（固定クーポン）	年0.961%
連動率 ^{*3}	100%

2. 当ファンドの信託報酬率および分配金

信託報酬率 ^{*1}	年0.44%（税抜き0.40%）
分配金 ^{*2}	年1回、1万口当たり45円程度（税引前） ^{*4}

^{*1} ファンドの元本総額に対する率、2025年5月27日以降。

^{*2} 予想分配金です。

^{*3} 満期償還時に決定される実績連動部分の算出式における、FOLIO－AIマルチアセット分散投資VT3指数（戦略指数）の累積収益率に対する連動率（実績連動部分＝戦略指数の累積収益率×連動率）。

^{*4} 年1回決算時、1万口当たり。当初販売用資料の記載においては、有価証券届出書提出日（2025年3月28日）現在の市場環境等を前提とした委託会社の予想に基づく分配金を40円から50円程度（税引前）としておりました。

※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※ファンド換金時には費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは8ページおよび投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

（ご参考）FOLIO – AIマルチアセット分散投資VT3指数（戦略指数）について

- 戦略指数は、米国株式、先進国株式、新興国株式、米国国債、米国ハイイールド債券、米国不動産、金等で構成されます。
- 株式会社FOLIO*のAI（人工知能）を用いた資産配分の最適化に基づき、所定のリスクコントロールによりパフォーマンスの安定化を目指します。

* 株式会社FOLIOは2015年12月に設立され、親会社である株式会社FOLIOホールディングス傘下のAlpacaTech株式会社とともに国内有数のAIテクノロジーを駆使し、一般投資家および金融機関向けに資産運用にかかるサービス・システム等を提供しています。

※上記は戦略指数の概略であり、当ファンドの運用手法を示すものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。

（ご参考）戦略指数のパフォーマンスについて

※以下、ゴールドマン・サックスおよびFOLIOのコメントを基に作成。

- 2024年初以降、2025年5月30日までの戦略指数のパフォーマンスは、+5.1%となりました。
- 2024年7～8月の日本を含む世界の株式市場が下落した局面では、戦略指数は事前に米国債券や金の比率を引き上げていたことに加えて、先進国株式や新興国株式の比率をゼロにしていたことなどから、下落幅が抑制されました。
- 2025年4月の米トランプ大統領による関税政策を端緒に世界の金融市場が混乱した局面では、戦略指数は株式に対して強気な姿勢でしたが、組入資産全体の投資比率を縮小していたことや、堅調な推移をみせた金等を併せて保有していたことなどから、下落局面の影響が軽減されました。

＜戦略指数の推移（シミュレーションを含む）＞ (2023年12月29日～2025年5月30日、日次)



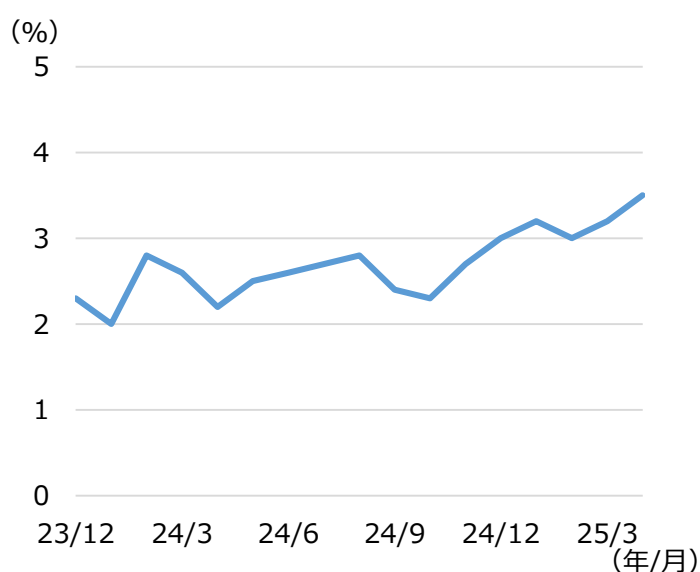
(注) 戦略指数のデータは円ベース、複製コスト、取引コスト、資産配分比率指定の報酬に充当する費用および戦略控除率等控除後。
(出所) Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記はシミュレーションおよび過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。シミュレーションは一定の前提条件に基づき、過去のデータを用いて行ったものであり、実際の投資成果ではありません。

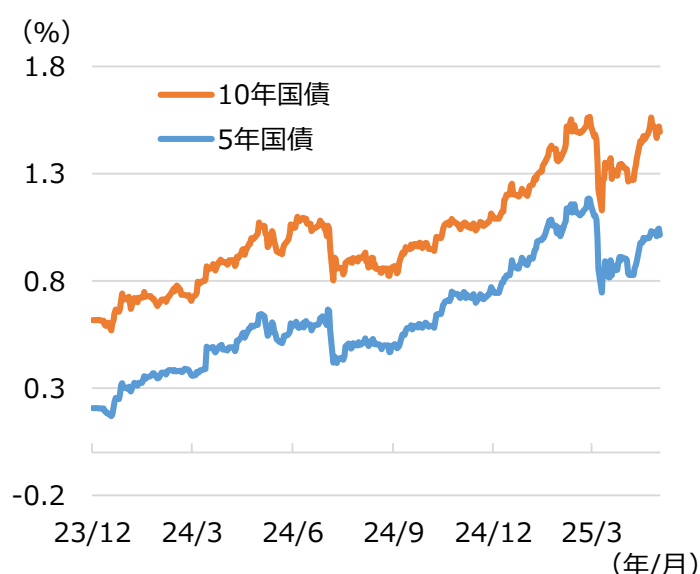
今後の債券市場の見通しについて

- 今後の国内金利環境は、日銀による物価安定目標の達成を見据えた慎重な利上げスタンスの継続を背景に、緩やかな金利上昇圧力がかかる展開が想定されます。一方、米国による関税措置などを受け、世界経済の不確実性が高まっていることは、金利の急激な上昇に対する抑制要因と考えられます。
- 国内では賃金上昇による個人消費の下支えや、企業の設備投資意欲の持続が期待される一方で、グローバルな通商環境の不透明感には引き続き注意が必要と考えています。
- こうした状況下、金利の緩やかな上昇に伴って一定の社債価格等の調整が想定されるものの、グローバルな経済の不透明感から、大幅な金利上昇（価格下落リスク）は限定的とみています。

＜国内コアCPIの推移＞
(2023年12月～2025年4月、月次)



＜国内長期金利の推移＞
(2023年12月29日～2025年5月30日、日次)



(注) データは左グラフが消費者物価指数（生鮮食品除く、前年比）、右グラフが日本国債5年および10年利回り。

(出所) Bloombergのデータを基に委託会社作成

（ご参考）戦略指数の見通しについて

※以下、ゴールドマン・サックスおよびFOLIOのコメントを基に作成。

- 2025年5月（2025年4月末にリバランスを実施）の戦略指数に活用されている、AIに基づく各資産のリターン予測では、米国株式を筆頭に、先進国株式、新興国株式、不動産など、比較的风险の高い資産のリターンの見通しが優位となりました。
- その結果、それらの比較的风险が高い資産の組入れが引き上げられており、一方で金などの比較的风险の低いとされる資産の組入れは低位に留まっています。

※上記は過去の実績および当資料作成時点の見通しであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

ファンドの特色

1. ゴールドマン・サックス社債に投資を行い、設定日より約5年後の満期償還時の当ファンドの償還価額について、元本*1を上回る投資成果を目指します。

*1 購入時手数料（税込み）は含みません。

- ゴールドマン・サックス社債は、ゴールドマン・サックス・ファイナンス・コープ・インターナショナルが発行し、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクによる保証が付されます。
- ゴールドマン・サックス社債の組入比率は原則として高位とします。また満期まで保有することを前提として原則として銘柄入替は行いません。

＜ご留意いただきたい事項＞

- 投資する債券の発行体等が債務不履行となった場合等には、元本を上回る投資成果とならない場合があります。また、信託期間中に当ファンドを換金した場合や当ファンドが繰上償還された場合等には、換金価額や償還価額が元本を下回る場合があります。
- 当ファンドは満期償還時に元本を上回る投資成果を目指しますが、元本の確保を保証するものではありません。

当ファンドは特化型運用を行います。

- ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」に定められた比率を超えて特定の発行体が発行する銘柄等に集中投資を行う特化型ファンドに該当します。
- ファンドは、ゴールドマン・サックス社債（ゴールドマン・サックス・ファイナンス・コープ・インターナショナル発行）に集中して投資を行うため、当該銘柄の発行体・保証体等に経営破たんや経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

2. ゴールドマン・サックス社債の利金（固定クーポン）と、FOLIO－AIマルチアセット分散投資VT3指数の累積収益率により決定される実績連動部分の獲得を目指します。

- 固定クーポンは、每期一定水準が支払われます。
- 実績連動部分は、運用開始基準日（2025年5月20日）以降の戦略指数の累積収益率にほぼ連動する水準*2に決定され、ゴールドマン・サックス社債の満期償還時に元金と共に支払われます。
*2 連動する水準は100%を目指しますが、ファンド設定時の市場環境等によっては100%を下回る場合があります。
- 戦略指数は、7つ程度のグローバル資産に対して先進のAI技術と伝統的な金融工学を組合せた計量モデルに基づき配分比率を決定する戦略に基づき算出されます。
- 戦略指数は、目標リスク水準を年率3%*3程度とします。
*3 目標リスク水準（年率3%程度）は目標値であり、常にリスク水準が一定であること、あるいは目標値が達成されることのいずれも約束するものではありません。また、上記数値はリスク水準の目標を表すものであり、年率3%程度の収益を目標とすることを意味するものではありません。

FOLIO－AIマルチアセット分散投資VT3指数（戦略指数）とは

- 戦略指数は、先進国株式のETF、米国および新興国の株式指数先物、米国国債先物、CDS指数を活用した米国ハイイールド債券、米国不動産ETF、金先物等で構成されます。
- ゴールドマン・サックス・インターナショナルは、株式会社FOLIOから投資対象資産の配分比率に関する指定を受け戦略指数を算出します。
- 同指数のリターン（損益）は、複製コスト、取引コスト、資産配分比率指定の報酬に充当する費用（年率0.2%）および戦略控除率（年率0.75%）を控除したものとします。

3. ゴールドマン・サックス社債の固定クーポン収入から諸コスト等*4を差し引いた分配原資のなかから、年1回の決算時に分配を行うことを目指します。

*4 信託報酬およびその他の費用等です。

- 年1回（原則として毎年5月27日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、1万口当たり40円から50円程度（税引前）*5の分配を行うことを目指します。
ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

*5 有価証券届出書提出日現在の市場環境等を前提とした委託会社の予想に基づく分配金（以下、「予想分配金」といいます。）であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。分配原資となるゴールドマン・サックス社債の固定クーポンは、当ファンド設定日にゴールドマン・サックス社債の発行条件において決定されます。固定クーポンの利率は金利動向や発行体の信用力等の影響を受けるため、実際の分配金は予想分配金とは異なる可能性があります。

4. 信託期間約5年の単位型の投資信託です。

- 信託期間は2025年5月20日から2030年5月27日までです。
- ご購入のお申込みは2025年5月19日までです。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドのリスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

債券市場リスク…債券の価格の下落は、基準価額の下落要因です

一般に債券は内外の経済情勢等の影響による金利の変動を受けて価格が変動します。通常、金利が上昇すると債券価格は下落します。また、格付けが引き下げられる場合も債券価格が下落するおそれがあります。債券価格の下落はファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、価格の変動幅は、債券の種類、格付け、残存期間、利払いのしくみの違い等により、債券ごとに異なります。

連動債券に関するリスク…連動債券の価格の下落は、基準価額の下落要因です

連動債券の価格は、投資対象資産の価格変動以外に、取引に関わる関係法人の財務状況の変化等およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。

連動債券の発行体・保証体の財務状況が著しく悪化した場合などには、基準価額が下落する可能性があるほか、ファンドの換金のお申込みの受付を中止することがあります。

なお、連動債券の取引にあたっては取引の相手方が限定されるため、通常の債券取引と比べて高いコストがかかる可能性があります。ファンドはゴールドマン・サックス社債を主要な投資対象とするため、市場金利や当該債券の発行体・保証体の信用状況に変化がない場合でも、ゴールドマン・サックスが資金調達を行う市場環境が悪化した場合、ゴールドマン・サックス社債の価格が下落し、基準価額が下落する要因となります。

また、ゴールドマン・サックス社債の価格は、戦略指数の収益率等の影響を受けます。戦略指数は、先進国株式のETF、米国および新興国の株式指数先物、米国国債先物、CDS指数を活用した米国ハイイールド債券、米国不動産ETF、金先物等で構成され、その基礎となる原資産の価格変動および市場動向等により変動し、取引の種類によっては原資産の価格変動以上の値動きをすることがあります。また、戦略指数を構成する資産のうち外貨建資産は為替変動の影響を受けます。したがって、為替相場が当該外貨建資産の通貨に対して円高になった場合には、戦略指数の収益率が下落する可能性があります。

当該債券の償還価格に含まれる実績連動部分は戦略指数の収益率等を参照して算出されるため、当該収益率の下落はゴールドマン・サックス社債の価格の下落要因となり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。戦略指数の累積収益率がマイナスであった場合は実績連動部分はゼロとなります。

投資銘柄集中リスク…特定の銘柄への集中投資は、基準価額の変動が大きくなる要因です

ファンドは、原則として、ゴールドマン・サックス社債に限定して投資する特化型運用を行うため、当該銘柄の影響を大きく受け、基準価額の変動が大きくなる要因となります。当該銘柄の発行体・保証体等に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じること等により、当該銘柄の価格が大幅もしくは継続的に下落した場合には、ファンドの基準価額が大幅もしくは継続的に下落します。

信用リスク…債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

ファンドが投資するゴールドマン・サックス社債の発行体・保証体等に債務不履行が発生あるいは懸念される場合等には、基準価額が下落する場合があります。

流動性リスク…市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です

有価証券等を大量に売却しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売却ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

ファンドが主要投資対象とするゴールドマン・サックス社債は、流通市場が確立しておらず、市場混乱等があった場合、発行体・保証体の信用状況が著しく悪化した場合等には、当該ゴールドマン・サックス社債の一部売却ができなくなり、そのために換金の受付を中止することがあります。

その他の留意点、分配方針および分配金に関する留意事項

ファンド固有の留意点

FOLIO – AIマルチアセット分散投資VT3指数（戦略指数）に関する留意点

ゴールドマン・サックス社債の実績連動部分は、戦略指数の累積収益率に基づいて算出され、ゴールドマン・サックス社債の満期償還時に元金と共に支払われます。戦略指数に重大な変更が生じた場合、算出・公表が停止された場合等には、実績連動部分がゼロとなる場合があります。

ゴールドマン・サックス社債の早期償還時における留意点

ファンドが組み入れるゴールドマン・サックス社債が、発行体・保証体等の債務不履行の発生や法令・税制の変更、市場混乱事由の発生、ヘッジ取引の継続困難等により早期償還となる場合には、当該債券の換金後にファンドは繰上償還します。ゴールドマン・サックス社債が早期償還となった場合、当該債券はその時点での時価で換金されるため、ファンドの償還価額は投資元本を下回る場合があります。

途中換金時等における留意点

ファンドが主要投資対象とするゴールドマン・サックス社債は、信託期間中にファンドを換金した場合や繰上償還となった場合等には、組み入れている当該債券はその時点での時価で換金されるため、ファンドの換金価額や償還価額は投資元本を下回る場合があります。

投資信託に関する留意点

- ファンドのお申込みに関しては、クーリング・オフ制度の適用はありません。
 - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
- これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

分配方針

- 年1回（原則として毎年5月27日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。

※第1期決算日は、2026年5月27日です。

- 分配対象額の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子、配当等収益のいずれか多い金額とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ファンドは計算期間中の基準価額の変動にかかわらず分配を行う場合があります。分配金額は運用状況等により変動します。分配金額は計算期間中の基準価額の上昇分を上回る場合があります。

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。この場合、当該元本の一部払い戻しに相当する金額についても課税されます。

お申込みメモ（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

換 金 単 位	お申込みの販売会社にお問い合わせください。
換 金 価 額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換 金 代 金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
信 託 期 間	2030年5月27日まで（2025年5月20日設定）
決算および分配	年1回（毎年5月27日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。（委託会 社の判断により分配を行わない場合もあります。） ※第1期決算日は、2026年5月27日です。
申 込 不 可 日	以下のいずれかに当たる場合には、換金のお申込みを受け付けません。 ●ゴールドマン・サックス社債の買取申込不可日 ●日本の祝日（土曜日・日曜日を除く）の前営業日 ●申込受付日の翌営業日または翌々営業日がロンドンの銀行休業日の場合 ●申込受付日から起算して2営業日から6営業日までの期間中にロンドンの銀行休業日が2営業日以上ある場合 ※申込不可日は委託会社のホームページ（ https://www.smd-am.co.jp ）に掲載します。 詳しくは委託会社または販売会社までお問い合わせください。
換 金 制 限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みに制限を設ける場合があります。
換金申込受付の 中止および取消し	取引所等における取引の停止、決済機能の停止、ゴールドマン・サックス社債の換金ができなくなったとき、その他やむ を得ない事情があるときは、換金申込みの受付中止や既に受け付けた換金申込みの取消しをする場合があります。
繰 上 償 還	委託会社は、ゴールドマン・サックス社債が以下に該当することとなり、当該債券が早期償還となる場合には、当該債 券の資金化後にファンドを繰上償還させます。 ●発行体・保証体等に債務不履行事由が発生したとき ●発行体・保証体等において当該債券に関連して生じる負債をヘッジするための手段が違法となるまたは部分的に 禁止されるとき ●当該債券および発行体等に課税事由が発生するときあるいは発生する可能性があるとき、または課税状況の変 化が発生するとき ●市場混乱事由の発生、また、ヘッジ取引の継続困難を理由として発行体が早期償還を決定したとき ●当該債券が早期償還となるその他の事由が発生するとき また、以下の場合には、繰上償還をすることがあります。 ●繰上償還をすることが受益者のため有利であると認めるとき ●残存口数が20億口を下回ることとなったとき ●「FOLIO－AIマルチアセット分散投資VT3指数」に重大な変更が生じたとき ●「FOLIO－AIマルチアセット分散投資VT3指数」の算出・公表が停止されたとき ●その他やむを得ない事情が発生したとき
課 税 関 係	●課税上は株式投資信託として取り扱われます。 ●公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象 となります。 ●当ファンドは、NISAの対象ではありません。 ●配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は、作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があり ます。

ファンドの費用（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

■ 投資信託は、換金時等に直接的にご負担いただく費用と信託財産から間接的にご負担いただく費用の合計額がかかります。

① 換金時等に直接的にご負担いただく費用

換 金 時	換 金 手 数 料	ありません。
	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じた額です。

② 保有期間中に信託財産から間接的にご負担いただく費用

項目	費用額
運用管理費用 （信託報酬）	ファンドの元本総額に年0.44%（税抜き0.40%）の率を乗じた額とします。 運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日と毎計算期末ならびに一部解約時または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
戦略指数に 関する費用等	ファンドの主要投資対象であるゴールドマン・サックス社債の満期償還時における実績連動部分は、FOLIO－AIマルチアセット分散投資VT3指数（戦略指数）の収益率等を参照して決定されます。同指数のリターン（損益）は、各資産の構成比率とそれぞれの収益率を合成し、下記の複製コスト、取引コスト、資産配分比率指定の報酬に充当する費用および戦略控除率等を控除して算出されます。 ● 各資産の複製コストの最大値は年率0.50%、リバランスにおける取引コストの最大値は都度0.01%です。なお、日次のリスクコントロール時におけるポジション量の調整の取引コストは、都度最大0.0104%となります。指数から控除される複製コスト、取引コストの合計値は、各資産の組入比率等により変化します。 ※複製コストおよび各取引コストの試算：合計で年率0.08%～年率0.23%程度（2017年末から2025年2月28日における年間相当コストの最大値と最小値、ゴールドマン・サックス証券による試算）です。上記は、過去の構成資産の指数の変動率等を基に試算した結果であり、市場環境等によっては試算の最大値を超過する場合があります。また、各コストは変更される場合があります。 ● 資産配分比率指定の報酬に充当する費用：年率0.2% ※資産配分比率指定の報酬は株式会社FOLIOへの報酬を指します。 ● 戦略控除率：年率0.75% ※戦略控除率は、戦略指数に乗じる連動率等を実現するために必要なものとして、実績連動部分の計算ルールにおいて定めるものです。ゴールドマン・サックス社債の発行体やファンドの関係法人（委託会社や販売会社等）が報酬として受け取るものではありません。 ※上記は作成基準日現在で知り得る情報に基づくものであり、今後、変更される場合があります。
その他の費用・ 手数料	以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。 ● 監査法人等に支払われるファンドの監査費用 ● 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料 ● 資産を外国で保管する場合の費用 等 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他の関係法人

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 コールセンター：0120-88-2976 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く） ホームページ：https://www.smd-am.co.jp
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 株式会社SMBC信託銀行
販売会社	ファンドの募集の取扱いおよび解約お申込みの受付等を行います。

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	金融商品取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人投資信託協会	備考
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○		
株式会社S B I証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		※1
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○	○		○		

備考欄について

※1：金融商品仲介業者経由のみでのお取扱いとなります。

AI／機械学習モデル活用リスク

※以下では、FOLIO－AIマルチアセット分散投資VT3指数（戦略指数）を「参照指数」と表記しています。

株式会社FOLIO（関連会社含む、以下FOLIO）は、AIと機械学習を用いて参照指数の資産配分を最適化します。当該モデルの活用は潜在的な利益をもたらす可能性がありますが、次に掲げる固有のリスクを認識頂くことが重要です。

- (i) AI／機械学習モデルによる市場予測は、将来のトレンドや投資結果を示唆または保証するものではなく、過去の運用成果は将来の結果を示唆するものではありません。
- (ii) 予期せぬ要因や市場イベントがモデルに影響を与え、予期せぬ投資結果につながる可能性があります。
- (iii) AI／機械学習モデルの有効性は、入力データの質に大きく依存し、不正確または不完全なデータは、最適とは言えない投資判断につながる可能性があります。
- (iv) 一定の状況においては、FOLIOによる人的介入が必要となる場合があります。
- (v) 市場環境の変化、データの利用可能性、モデル・アルゴリズム等によりAI／機械学習モデルの調整が必要となる場合があり、これが参照指数の運用成果に影響を与える可能性があります。

なお、ゴールドマン・サックスは、当該AI／機械学習モデルの開発には関与しておらず、目標の達成について責任を負うものでも、その表明を行うものでもありません。

重要な注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した、受益者の方に情報をお伝えする受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

ゴールドマン・サックスの免責条項

ゴールドマン・サックス社債／FOLIO・AIマルチアセット戦略ファンド2025-05（以下「当ファンド」）は、三井住友DSアセットマネジメント株式会社（以下「使用権者」といいます。）またはその関連会社により運用されており、使用権者の商品です。「ゴールドマン・サックス」は、Goldman Sachs & Co. LLC（以下「使用許諾者」といいます。）の日本およびその他の国において登録された商標です。使用許諾者の商標は、使用許諾者の使用許諾により使用されています。

使用許諾者およびその関連会社（以下「GS」といいます。）は、使用権者またはその関係もしくは関連する会社もしくは当ファンドを含みますがこれに限られない金融商品、投資信託もしくは指数と、何らの関係、関与または関連がありません。GSは、当ファンドの設定または販売に責任を負わず、また参加していません。GSおよびその使用許諾者は、有価証券一般もしくは当ファンドへの投資または当ファンドが市場一般もしくは指数実績を追跡する能力の有無もしくは投資リターンを提供する能力の有無に関して、当ファンドの保有者または公衆に対し、明示的か黙示的かを問わず、いかなる表明または保証も行いません。使用許諾者と使用権者の関係は、当ファンドに関する使用許諾者の商標の使用許諾に限られます。

GSは、当ファンドの価格または金額、当ファンドの発行または販売の時期、当ファンドを現金化し、引き渡しまたは償還する（場合によります。）ための等式の決定または計算に、責任を負わず、また関与していません。使用許諾者は、当ファンドの管理事務、マーケティングまたは取引に関して義務および責任を負いません。投資商品が、正確に指数実績を追跡すること、または投資リターンを提供することについて、保証はありません。使用許諾者は投資助言者ではなく、そのため、いかなる有価証券についても購入、売却または保有の推奨を行わず、また投資助言も行っていない。

GSは、当ファンドを支持し、承認し、スポンサーとなり、または販売促進することではなく、当ファンドまたは他の金融商品および使用権者もしくはその関連会社のファンドに投資することを推奨することを行いません。

作成基準日：2025年5月30日

